

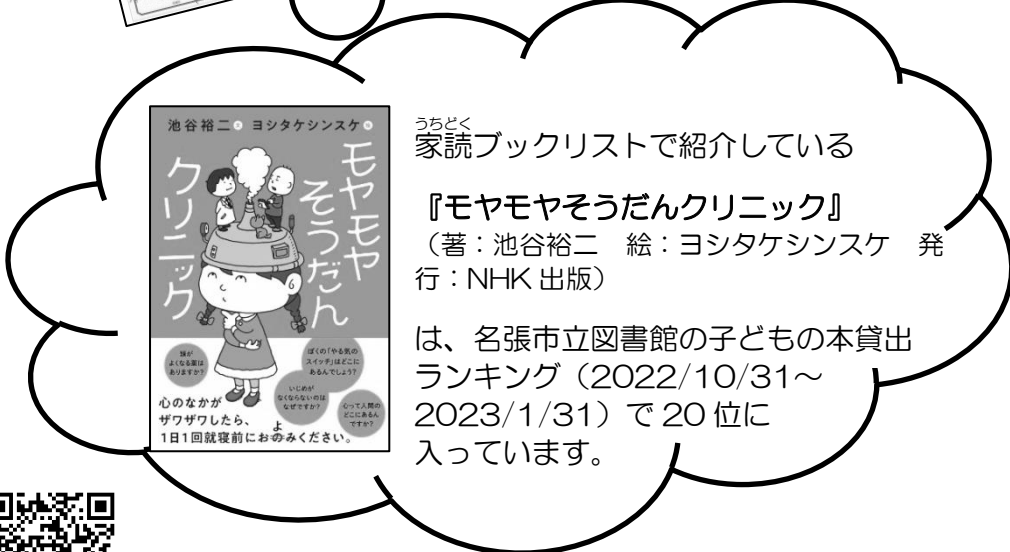
うちどく

家読ブックリスト、気になる本はありましたか？



10月に発行した家読(うちどく)ブックリストのパンフレットですが、載っている本を読んでみた人はいますか？絵本ですが『わたしはあかねこ』(作:サトシン 絵:西村 敏雄 発行:文溪堂)や『ヤク-バとライオン! 勇気』(作:ティリー・デデー 訳:柳田 邦男 発行:講談社)などは、大人が読んででも読みごたえがあります。気になる本があったらぜひ読んでみてください。学校図書館にない場合は、市立図書館で借りられます。やまなみ号でもリクエストすれば持ってきてくれます。

『絵本』『文学』『科学』『生き方』『知ってほしいこと』からそれぞれ5冊と、名張にゆかりのある作家の本を紹介しています。



QRコードで、インターネットでもブックリストが見られます。

名張市学校図書館だより 中学校版 令和四年度 年度末号 発行・教育センター



● 今回のおしらせ

● うちどくブックリスト

● おすすめの本紹介

返却忘れ、ありませんか？

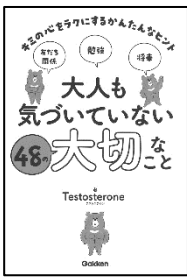
名張市内小中学校の春休みは、本の貸し出しがありません。

毎年年度末のとしよだよりでお知らせしていますが、学校図書館で借りている本は、3月中に必ず返却してください。特に3年生は卒業までに返すことを忘れないようにしましょう。(何年も前の卒業生が、ずっと前に借りていた本を持ってくることもあります。)もし、自分が本を借りているかどうか分からなかったら、学校図書館で聞いてみましょう。



名張市内中学校の2022年度おすすめ本紹介！

今年度入った本の中から、図書担当の先生方のおすすめ本を紹介します！



名張中学校 『大人も気づいていない48の大切なこと

-キミの心をラクにするかんたんヒント-』

著：Testosterone 発行：学研プラス（Gakken）

「自分に自信が持てない」「将来の夢がわからない」といった悩みを抱える10代に向けて、人生を楽しむコツが書かれた本です。背中を押してくれる言葉がたくさん書かれているので、ぜひ読んでもらいたいです。

赤目中学校 『季節を愉しむ366日 日本の二十四節季 七十二候 年中行事』

監修：三浦 康子 発行：朝日新聞出版

全ページカラーとなっており、日本の四季、文化を味わうことができます。外に出る機会が少なくなり、行事に参加することが減ってきてしまった今だからこそ、自宅にいても日本の良さを体験できることを知ってほしいです。



桔梗が丘中学校 『葉っぱ切り絵コレクション いつでも君のそばにいる 小さなおもしろい優しい世界』

著：リト@葉っぱ切り絵 発行：講談社

「動物たちの春夏秋冬」や「世界のものがたり」といったテーマの配置も見ごたえを感じます。一つ一つの作品に短いメッセージやコメントも寄せられていて、それもまた優しい言葉で書き綴られています。本の終わりには出会う日が書かれていて、それを知ってから読み返すと違った美しさも感じられ、心に響きます。

北中学校 『地球で暮らすきみたちに知ってほしい50のこと』

著：ラース・ヘンリク・オーゴード 訳：枇谷 玲子 発行：晶文社

宇宙人はいるの？どうして空は青いの？など、気になる問いに答えてくれる一冊です。新しい気付きや知識がたくさん！！最初から最後まで楽しい本でした！！



南中学校 『5分で読書 昼休みの事件簿』

著：更伊 俊介、藍藤 唯、小谷 杏子、さちはら 一紗 発行：KADOKAWA

本を読むことが苦手な生徒も朝の読書の時間に読みやすい本だと思います。読書のきっかけにおすすめしたい本です。

今年度も図書担当の先生方におすすめを紹介していただきました。5分後シリーズなど、ショートショート系は朝読の時間にピッタリですね。小学校版では『へいわとせんそう』（文：たにかわしゅんたろう 絵：Noritake 発行：ブロンズ新社）が2校から紹介されました。この本は、シンプルながらとても深く考えさせられる本です。うちどくブックリストにも載せていますので、中学生の皆さんもぜひ読んでみてください。